

差出人: T. Tauchi toshiaki.tauchi@kek.jp 

件名: LC推進活動 WG3 プロジェクト推進

日付: 2019年6月17日 13:00

宛先: Okada Yasuhiro yasuhiro.okada@kek.jp、 keisuke fujii keisuke.fujii@kek.jp、 Yamamoto Akira akira.yamamoto@kek.jp、
Akiya Miyamoto akiya.miyamoto@kek.jp、 設楽 哲夫 tetsuo.shidara@kek.jp

CC: Yamashita Satoru satoru@icepp.s.u-tokyo.ac.jp

Bcc: TAKESHI MATSUDA take187matsu@gmail.com



岡田様、WG3の皆様

先日の6月5日に開催されたLC推進委員会の議論で、山下委員よりILCの現状に関連して、はやぶさ2の例が示されました。私はそのことを知りませんでしたので、少し調べてみました。山下さんの説明では、はやぶさの成功帰還で国民の間で熱狂的な支持があったのにも関わらず、科学界の理解が得られず科学界からの猛反対に会い後継のはやぶさ2プロジェクトに中々予算がつかなくなったということでした。このことは「はやぶさ2問題」と言われていたようです。ILCでは東北エリアを中心に地元の熱狂的な支持がありますが、日本学術会議からの支持を得ることができないことに対応するのでしょうか。

添付ファイルに「はやぶさ2問題」をまとめ、そこでのはやぶさ2プロジェクトに対する日本惑星科学会の反対という構図に対して、ILCプロジェクトと日本学術会議の反対というものを対峙させ、私の考えられる提案を示しました(22ページ)。また、最後に、5/13-16開催のOpen symposiumからの帰国後にStrategy Secretariatの議長であるAbramowicz教授に送ったメールとその返信のコピーを添付します。

添付ファイルの説明

2ページ: はやぶさ2プロジェクトの略年表、はやぶさの行方不明からはたぶさ2が立ち上がり、「はやぶさ2問題」を経由してリュウグウに到達するまでの年表です。

3ページ: 同上、はやぶさの構想開始からのグラフ

4ページ: はやぶさ2の審議状況(文科省、宇宙開発委員会)

5ページ: はやぶさ2が惑星科学者らから袋だたきにあったことを示す川口淳一郎氏のインタビュー

6ページ: 「袋だたき」をした日本惑星科学会の設立からの経緯、意見として「少数派の分野が巨額の予算を使おうとしている」「研究者レベルからのボトムアップ議論が不足している」など、また、同時期にアメリカで同様の計画としてOSIRIS-REXが進行していることを示しました。

7ページ: 2011年5月11日の宇宙開発戦略専門調査会での林氏による「はやぶさ2問題」の指摘

8~15ページ: 2011年6月27日の宇宙開発委員会 推進部会 議事録から、日本惑星科学会 会長 名古屋大学 大学院 教授 渡邊 誠一郎氏のスライド、はやぶさ2の科学的意義と問題点の指摘を行っていました。

16-19ページ: 2011年6月27日の宇宙開発委員会 推進部会 議事録から、日本惑星科学会を代表する渡邊教授の意見、そして池上委員長は委員会での議論のまとめで「サイエンスのグループできちっと議論があつて当たり前と私は考えていたのですが、必ずしもそれが今までうまくいってなかったことがわかりました」との認識を示しました。

20ページ: この「はやぶさ2問題」を打開するために組織再編を行ったJAXA月・惑星探査プログラムグループ(JSPEC)の統括リーダー 山浦氏のインタビュー

21ページ: 当時の状況について語る渡邊氏インタビュー

22ページ: はやぶさ2プロジェクトに対する日本惑星科学会の反対という構図に対して、ILCプロジェクトと日本学術会議の反対というものを対峙させ、私の考えられる提案を示しました。日本物理学会と日本加速器学会からILC支持の声明を出して頂くという提案です。その提案の骨子を示しました。ここでのキーワードは、「科学技術立国」「基礎研究、学術研究」「最新(加速器)技術」「国際貢献」です。それぞれの学会長はKEKとのつながりがかなりある人と思いますので、ざつぱらんに腹を割って話しをすることを試みても良いと思います。また、日本学術会議議長の山際氏とも同様に意見交換することが重要と思います。

23~24ページ: 5/13-16開催のOpen symposiumからの帰国後にStrategy Secretariatの議長であるAbramowicz教授に送った私のメールとその返信のコピーです。

皆様からの意見をお聞かせください。

できればWG3でも議論したいと思いますが、よろしくお願いします。

田内

P.S. ご存知かもしれませんが面白いブログを見つけました。「素粒子物理学とILCが嫌われる理由」です。

<http://blog.livedoor.jp/akinaka0629/archives/53321865.html>

また、インタビュー記事は、日経 XTECHの小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦(2014年5月7日~2016年1月5日)からのものです。<https://tech.nikkeibp.co.jp/dm/article/COLUMN/20140416/346761/?ST=avitation>